

ネオライスパッカー

NRP 30C (3)

取扱説明書



株式会社 **サタケ**

安全標示について

ご使用のまえに、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、標示で区分して説明しています。
安全標示の種類と意味は以下の通りです。

安全標示が持つ意味を理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

安全標示	意 味
 危 険	この標示に従わなかった場合、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険がある内容を示しています。
 警 告	この標示に従わなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注 意	この標示に従わなかった場合、人がけがを負う可能性がある内容を示しています。

その他の標示	意 味
<u>取扱注意</u>	この標示に従わなかった場合、製品の損傷や故障、または原料の損傷が生じる可能性がある内容を示しています。
<u>補 足</u>	使用上役立つ補足説明を示します。

重要なお知らせ



- この取扱説明書を読み、理解するまでは、操作および保守・点検を行わないでください。
 - 本製品操作および保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書に従ってください。
- いつでも調べられるように、この取扱説明書を本製品の近くに大切に保管してください。

- 疑問点または不明な箇所があれば、お買い上げの販売店・JAまたは、巻末の「**緊急時の連絡先**」に問い合わせるまで、作業を進めないでください。
- この取扱説明書に従わなかったために、あるいは誤用や無断改造がなされたために、けがを負ったり損害が発生したりしても、販売元・製造元および販売店・JAは一切その責任を負いません。

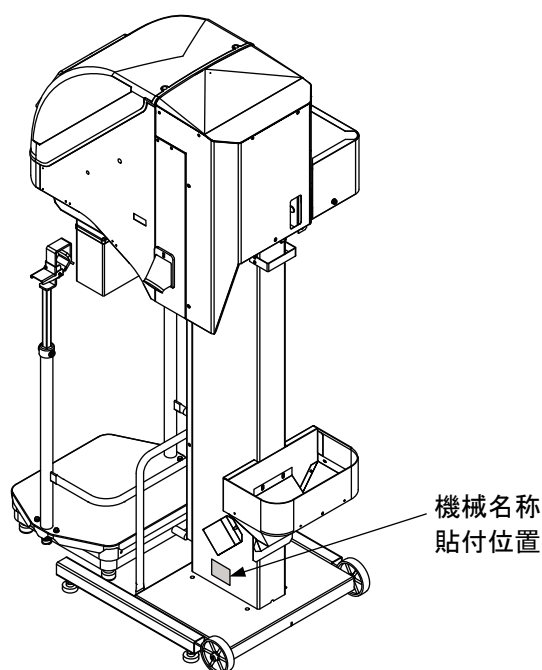
1. 近年、産業機械には、新しい材料や加工方法の採用により、さまざまな危険が数多く発生する傾向にあります。

この機械の取扱上の危険についても、すべての状況を予測することはできません。

そのため、この取扱説明書の記載および機械本体に標示している事項は、すべての危険を想定しているわけではありません。

したがって、機械の操作または日常点検を行う場合は、この取扱説明書の記載および機械本体に標示している事項に限らず、安全対策に関しては十分な配慮が必要です。

2. この取扱説明書について、質問やより詳しい情報が必要な場合は、お買い上げの販売店・ＪＡまたは、巻末の「緊急時の連絡先」にお問い合わせください。
3. この取扱説明書において、ページの「乱丁」や「落丁」などがあった場合は、お取り替えいたします。お手数ですが、お買い上げの販売店またはＪＡまでご連絡ください。
なお、その際は機械名称も併せてご連絡ください。



保証の限定

本製品は厳密な品質管理と検査を経てお届けしたものです。

正常なご使用状態において故障した場合には、納入日より1年間無料で修理いたします。

＜保証事項＞

1. 取扱説明書、本体標示ラベルに従った使用により機械が保証期間内に故障した場合には、保証書をご持参ご提示の上お買い上げの販売店またはJAに修理をご依頼ください。
ただし、保証書のご提示なき場合、消耗部品およびその交換費用は保証期間内でも有償となります。
2. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
3. 無料修理期間中でも、**次の場合は有料修理になります。**
 - (1) 誤った使用方法、あるいは取扱上の不注意によって生じた損傷および故障。
 - (2) 不当な修理や改造によって生じた損傷および故障。
 - (3) 火災、公害、塩害、異常電圧などの外部要因、地震、雷、風水害などの天変地異によって生じた損傷および故障。
 - (4) 一度据え付けた後の移動、落下により生じた損傷および故障。
 - (5) 弊社純正部品以外の使用、お買い上げの販売店・JAまたはその指定サービス工場以外での修理による故障。
 - (6) 保証書の紛失、保証書の記入事項または字句を勝手に訂正された場合。
 - (7) 木切れや石などの異物が機械内に入って生じた損傷および故障。

＜免責事項＞

1. 上記(1)から(7)の場合、保証期間内外を問わず、これにより生じる直接および間接損害、その他一切の損害については、何ら責任はないものといたします。
2. お客様が本製品を別のお客様にお譲りになる場合は、必ず、お買い求めいただいた販売店またはJA、もしくは新しく製品をお求めになる販売店またはJAにご相談ください。
お客様が別のお客様に直接お譲りになりますと、製品の状態（修理履歴、移設作業の状態）、付属品（取扱説明書等）の有無を把握できないため、製品の安全性や性能について保証できなくなります。

もくじ

	ページ
安全標示について	i
重要なお知らせ	ii
保証の限定	iv
ご使用のまえに	
安全上の注意事項	1
使用上の注意事項	3
標示ラベルについて	4
各部のなまえ	6
表示部・操作部のなまえとはたらき	8
機械の組立	10
機械の据付	12
運転のしかた	
運転前の確認と作業	13
運転操作	14
計量のしかた	17
お手入れと保管	
掃除	20
保管	21
点検・調整	
点検・調整	22
スパン調整	23
困ったとき	
困ったときの対処のしかた	25
その他	
配線図	27
オプション部品	28
仕様	29
機体寸法	30
保証とアフターサービス	31
緊急時の連絡先	巻末

ご使用のまえに

運転のしかた

お手入れと保管

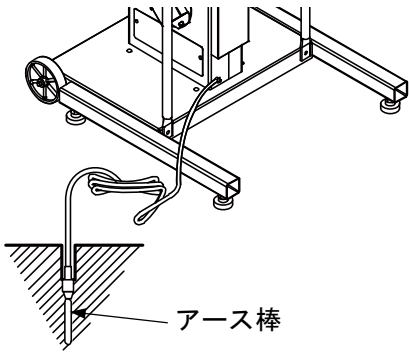
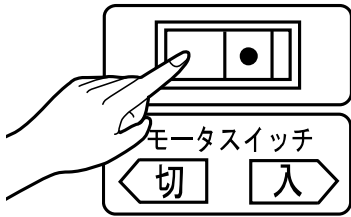
点検・調整

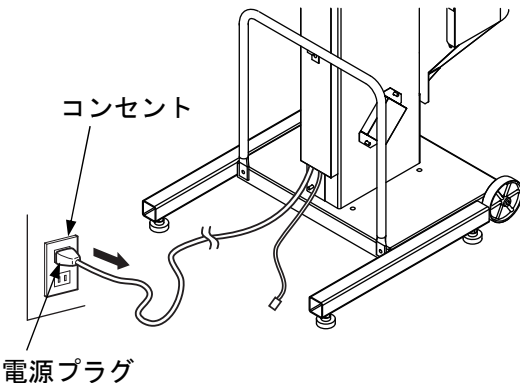
困ったとき

その他

安全上の注意事項



ビニール袋の処分	● 梱包を開梱した後は、機械をおおっているビニール袋で子供が遊ばないように、手の届かない場所に置か処分してください。
子供を近づけない	● 作業場に、作業に関係ない人は入れないようにしてください。特に子供を遊ばせないように注意してください。
作業に適した服装の着用	● 長い頭髮は束ね、作業に適した袖口のしまった服および底のすべらない靴で作業をしてください。 ● 首や肩にタオルを掛けて作業しないでください。
機械の接地（アース） 	● 漏電による感電や火災防止のため、必ず接地（アース）をしてください。接地（アース）工事については、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。
漏電ブレーカの設置	● 漏電事故防止のため、元電源に必ず漏電ブレーカを設置してください。 設置については、電気工事店に依頼してください。
運転開始前に周囲の確認 	● 電源コードなどにつまつかないように、機械周辺の整理整頓をしてください。 ● 元電源を入れる前に、[モータスイッチ] が [切] になっていることを確認してください。 [入] になっている場合は、元電源を入れると同時にモータが回転することがあり危険です。 ● 運転は、周囲の安全を確かめてから開始してください。2人以上で作業するときは、お互いに合図を交わしながら行ってください。 ● 機械の上に工具などの物を置いて機械を作動させないでください。

通電部分に触れない	● 元電源を入れた後は、秤指示計内部などの通電部分には、絶対に触れないでください。
カバー類を取り付けて運転	● カバー類はすべて取り付けて運転し、運転中はカバー類を取り外さないでください。 (駆動部でけがをするおそれがあります)
張込ホッパに手を入れない	● 運転中は、張込ホッパに手や棒などを入れないでください。
	
可動部に触れない	● 運転中は、機械の可動部に触れないでください。
運転中は点検をしない	● 運転中は、特に指示する箇所以外は機械の点検および調整を行わないでください。
掃除・点検・停電時は 電源プラグを抜く	● 各部の掃除、点検や異常・故障時の処置をする場合は、[モータスイッチ]を切り、電源プラグを抜いて、機械が完全に停止している状態で行ってください。 ● 運転中に停電した場合は、[モータスイッチ]を切り、電源プラグを抜いてください。
	
無理な作業はしない	● 疲労を感じたら無理に作業を続けず、休憩をしてください。

使用上の注意事項

据付場所	● 機械の据付場所は、水平でしっかりとした明るく広い場所にしてください。水平でないと機械の振動発生の原因になります。 ● 機械周辺の作業通路を確保してください。壁から 50 cm 以上離して据え付けてください。
雷が鳴ったら電源プラグを抜く	● 落雷のおそれがあるときは、機械保護のため運転を中止し、電源プラグを抜いてください。
タコ足配線をしない	● コードリールの使用やタコ足配線はしないでください。電圧降下による計量誤差の原因となります。
計量器に重量物を載せない	● 計量器の上に人や重量物を載せると故障の原因になります。体重計などに使用しないでください。
水を掛けない	● 機械には水を掛けないでください。水が掛かると電気回路がショートし、機械が故障または損傷するおそれがあります。
各操作部はていねいに操作する	● 操作部を乱暴に操作すると、誤動作および故障の原因になりますので、ていねいに操作してください。
機械の運転状態を監視する	● 運転中は、機械の運転状態を監視してください。異常を感じた場合は、作業を中止し機械の点検を行ってください。
揮発性の高い薬品の使用禁止	● 本機周辺で揮発性の高い薬品を使用・保管しないでください。機械が故障するおそれがあります。
保管時のネズミ侵入対策	● 機械の保管場所は乾燥した平らな所を選び、機械内にネズミが侵入しないように注意してください。

標示ラベルについて

本製品には、特に注意を要する箇所に標示ラベルが貼り付けてあります。
これらの正確な位置および危険防止の内容をよく確認のうえ、理解してください。

1. 標示ラベルの貼付位置

標示ラベルの貼付位置と標示ラベルの内容については、図 1 および図 2 を参照してください。

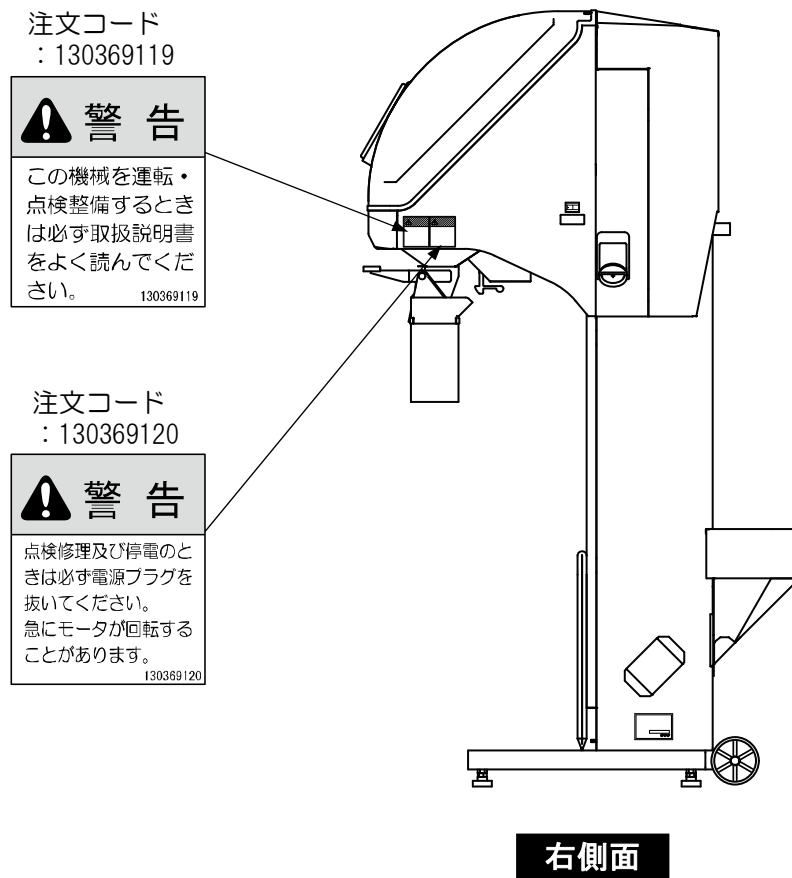


図 1 標示ラベル貼付位置 (1)

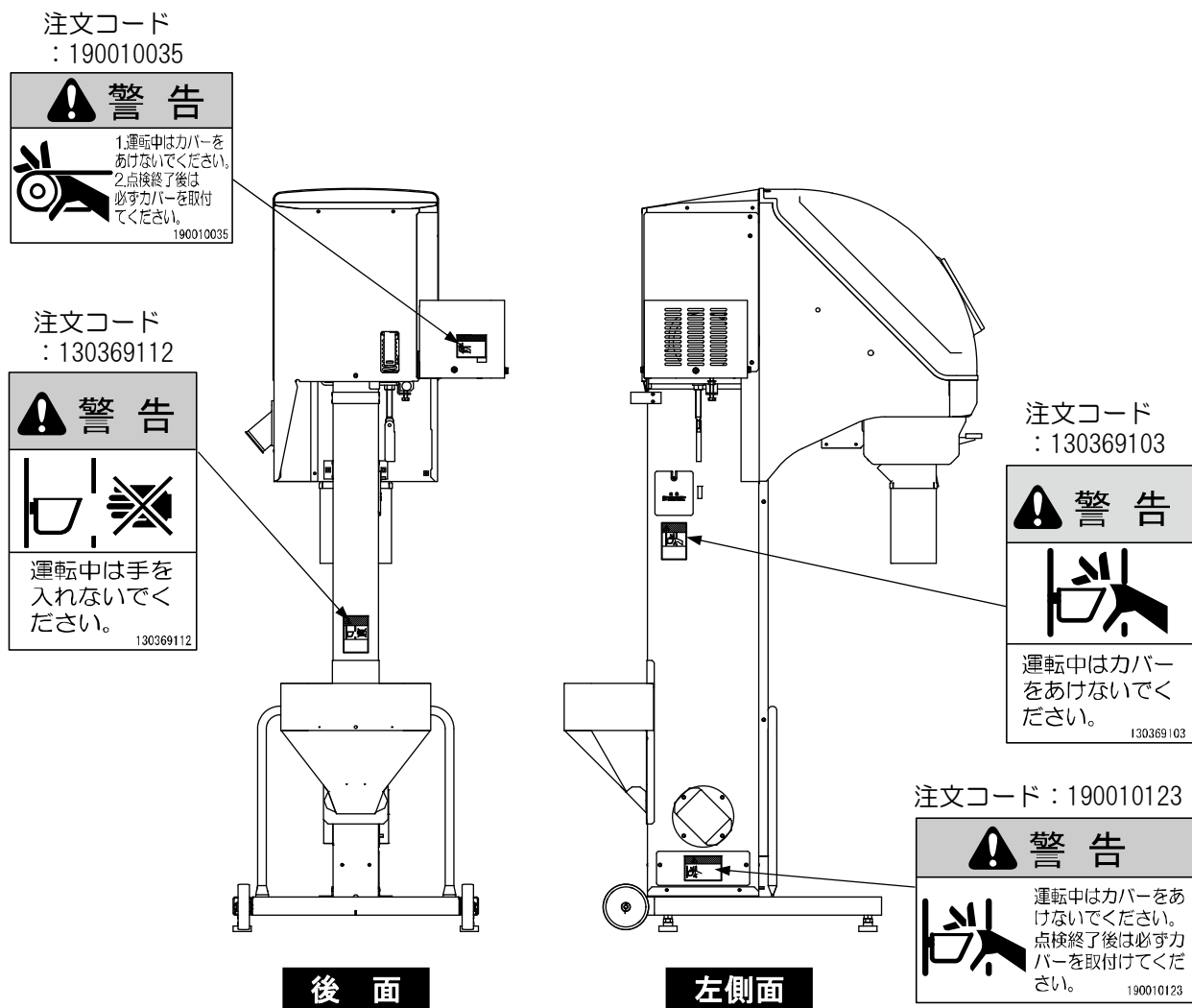


図 2 標示ラベル貼付位置 (2)

2. 標示ラベルの取扱い

- 標示ラベルがすべて読めるか確認してください。
汚れなどで文字やイラストが見えない場合、標示ラベルの汚れを落とすか交換してください。
- 標示ラベルの汚れ落としには布、水、洗剤を使用してください。
有機溶剤やガソリンなどを使用しないでください。
- 標示ラベルの損傷、紛失、読めない場合は、標示ラベルを購入して貼り替えてください。
問い合わせ先は、巻末の「緊急時の連絡先」を参照してください。

各部のなまえ

1. 機械の構成

ご使用のまえに

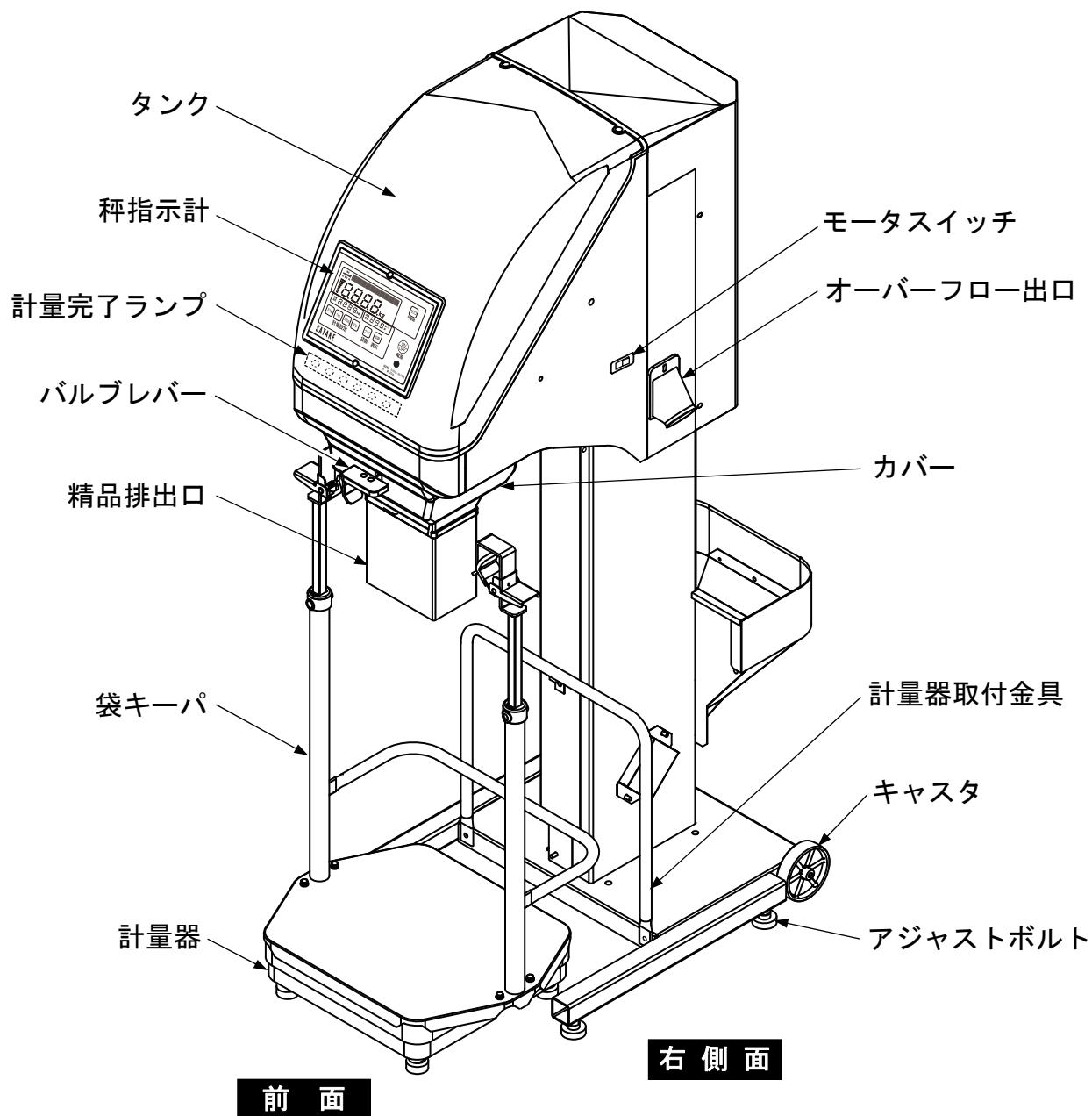


図 3 機械全体図 (1)

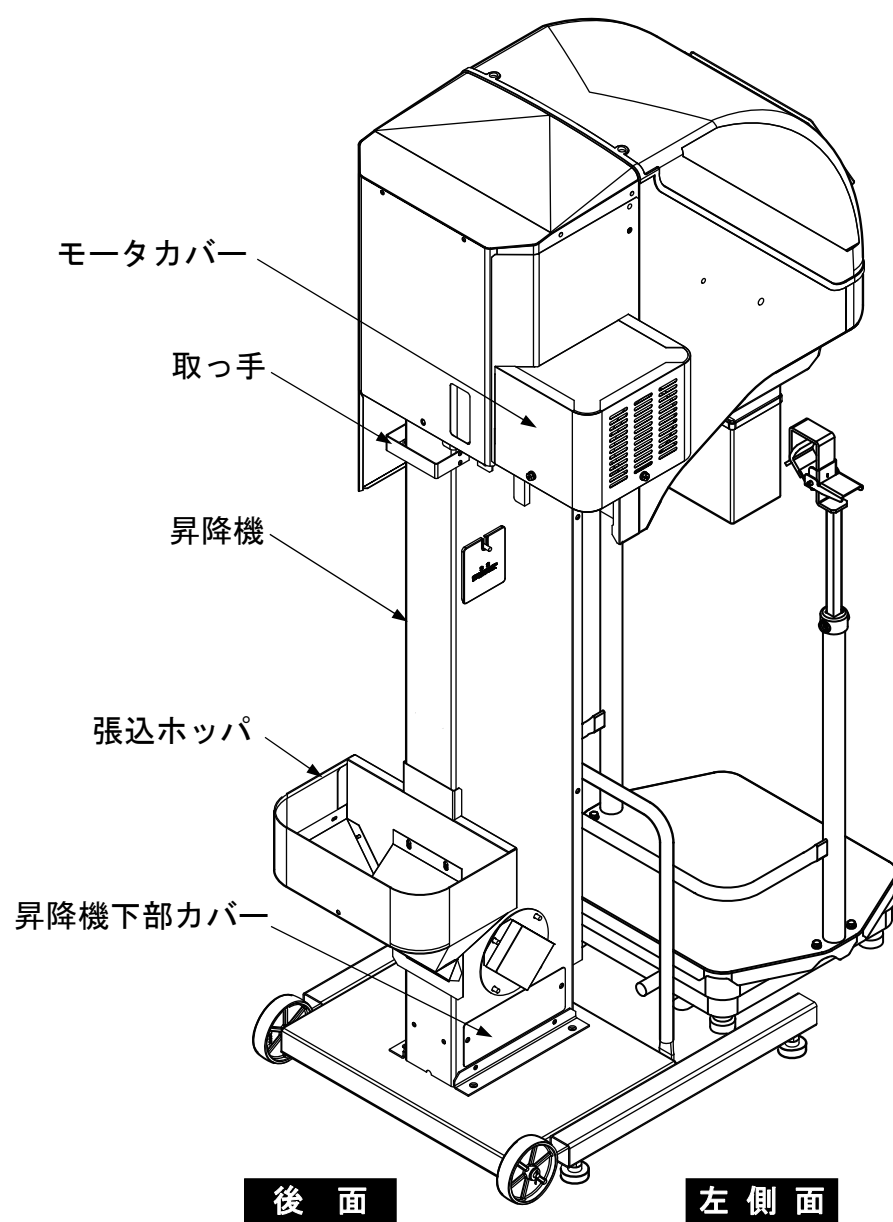
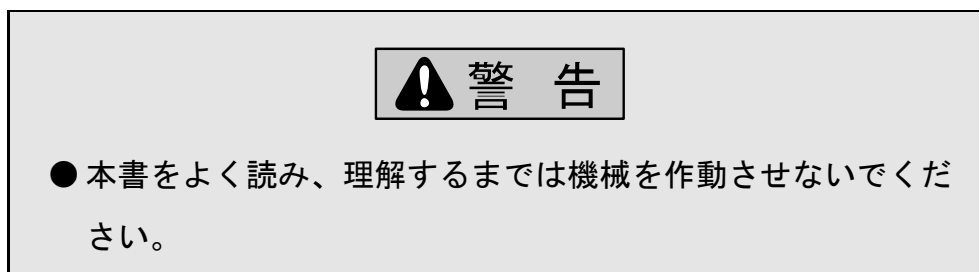


図 4 機械全体図 (2)

表示部・操作部のなまえとはたらき

1. 操作箇所の名まえ



- 操作については、13～19ページを参照してください。

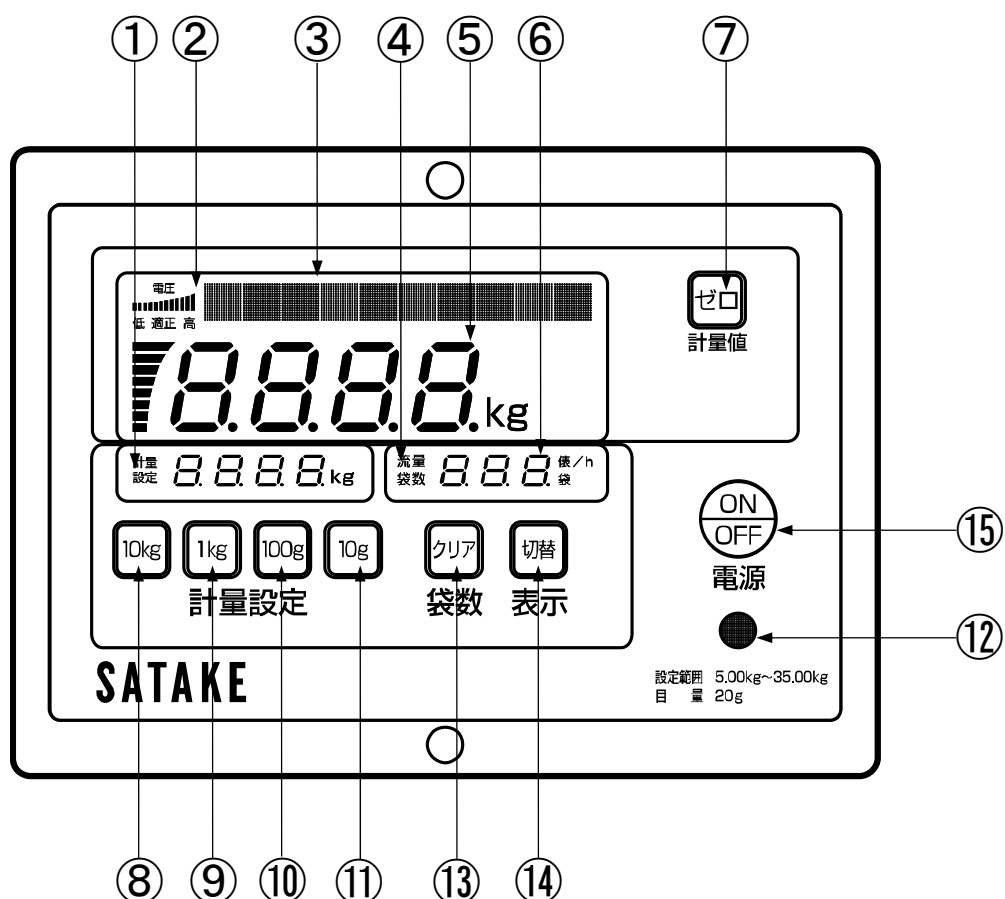


図 5 表示部・操作部

表 1 表示部・操作部の名称と機能一覧表

番号	名 称	機 能
①	計量設定表示部	計量設定値を表示します。 計量設定値は電源コードを抜いても記憶されています。
②	電圧表示部	電源電圧をバーグラフで表示します。
③	メッセージ表示部	運転状態やエラー表示など、10桁のメッセージを表示します。
④	袋数／流量表示ランプ	袋数表示ランプ点灯中は袋数を、流量表示ランプ点灯中は流量を表示します。
⑤	計量値表示部	計量値 (kg) を表示します。 20g 間隔で重量表示します。
⑥	袋数／流量表示部	袋数・流量を 5 秒間隔で交互に表示します。 袋数は 3 桁 (0~999 袋)、流量は 2 桁 (0~60 俵/h) の表示となります。(選別後の精品の現在流量を表示します)
⑦	計量値ゼロスイッチ	計量器に何も載せていないときの表示を「0」にする場合や風袋引するときに使用します。 5 kg まで風袋引することができます。
⑧	計量設定スイッチ (10 kg)	自動計量の 10 kg の単位を設定できます。 1 回押すごとに 0→1→2→3→0 と繰り返されます。
⑨	計量設定スイッチ (1 kg)	自動計量の 1 kg の単位を設定できます。 1 回押すごとに順次繰り返されます。
⑩	計量設定スイッチ (100g)	自動計量の 100g の単位を設定できます。 1 回押すごとに順次繰り返されます。
⑪	計量設定スイッチ (10g)	自動計量の 10g の単位を設定できます。 1 回押すごとに 2→4→6→8→0→2→…と繰り返され、20g 単位で設定します。
⑫	メロディ／ブザー	自動計量が完了すると、メロディが鳴り知らせます。 ※ 待機中に [表示切替スイッチ] を長押し (3 秒) するとブザー音に変更できます。メロディに戻す場合も同様に長押し (3 秒) してください。 ※ 待機中に [袋数クリアスイッチ] を長押し (3 秒) すると音量を 3 段階 (大・中・小) に変更できます。
⑬	袋数クリアスイッチ	押すと袋数が「0」になります。
⑭	表示切替スイッチ	1 回押すごとに、袋数と流量の表示が切り替わります。
⑮	電源スイッチ	1 回押すごとに [入] と [切] を繰り返します。 [切] にしても電源ケーブルを抜かない限り、袋数は記憶されています。

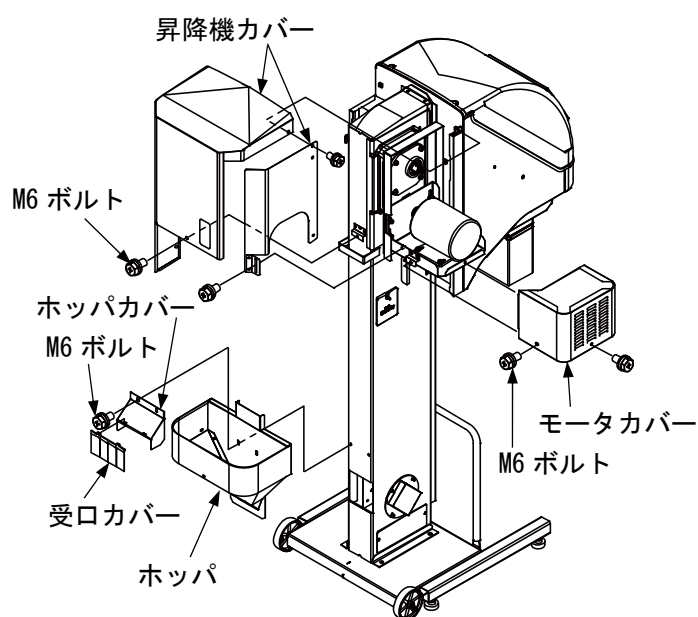
機械の組立



警告

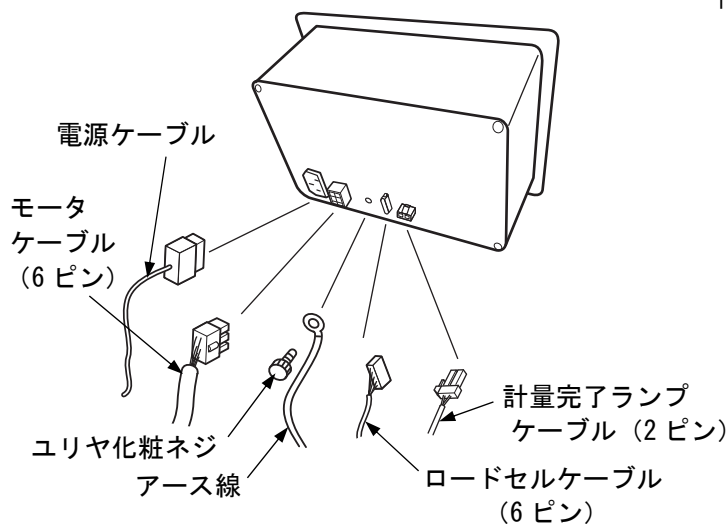
- [モータスイッチ] を [切] にし、電源プラグを抜いてから作業を行ってください。

1. ホッパ・カバーの取付

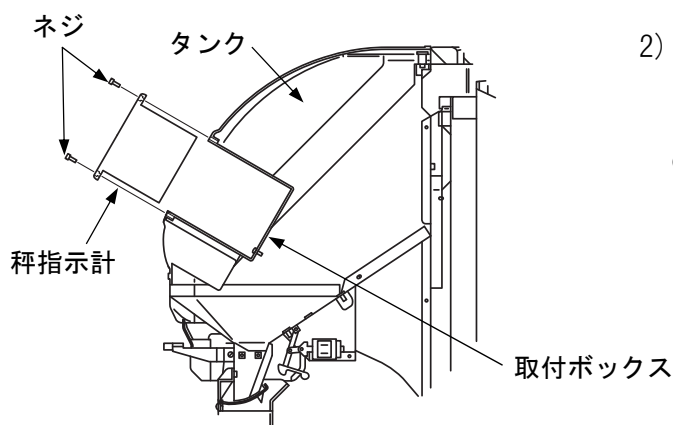


- 1) 昇降機カバーを昇降機に取り付けます。
 - M6 ボルト (6 本) で固定します。
- 2) モータカバーをモータベースに取り付けます。
 - M6 ボルト (3 本) で固定します。
- 3) ホッパとホッパカバーを昇降機に取り付けます。
 - M6 ボルト (2 本) で固定します。
- 4) 受口カバーをホッパカバーに引っ掛けます。

2. 秤指示計の取付



- 1) 別梱包の中から秤指示計を取り出し、電源ケーブル、モータケーブル、アース線、ロードセルケーブル、計量完了ランプケーブルを接続します。
 - コネクタは確実に差し込んでください。
 - アース線はユリヤ化粧ネジでしっかりと締め付けてください。



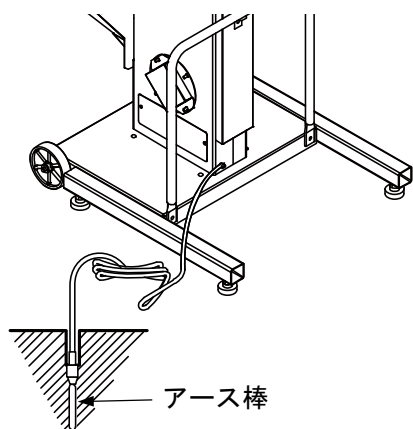
- 2) 秤指示計を取付ボックスに差し込み、ネジ（上下2本）で固定します。

- ネジは取付ボックスに付けてあります。

3. 接地（アース）

警告

- 漏電による感電や火災防止、機械の誤動作防止のため、必ず接地（アース）をしてください。
- 接地（アース）工事は、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。

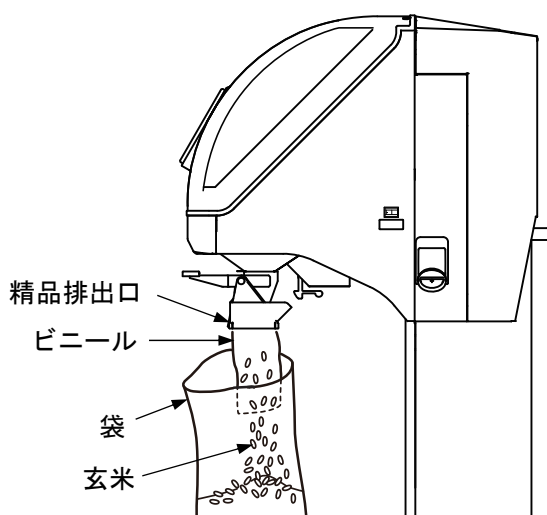


- 1) 接地抵抗が 100Ω以下となるよう、アース棒を地中深くに埋設し、接地（アース）します。

取扱注意

- 電気設備技術基準に基づき、D種（第3種）接地工事を行ってください。

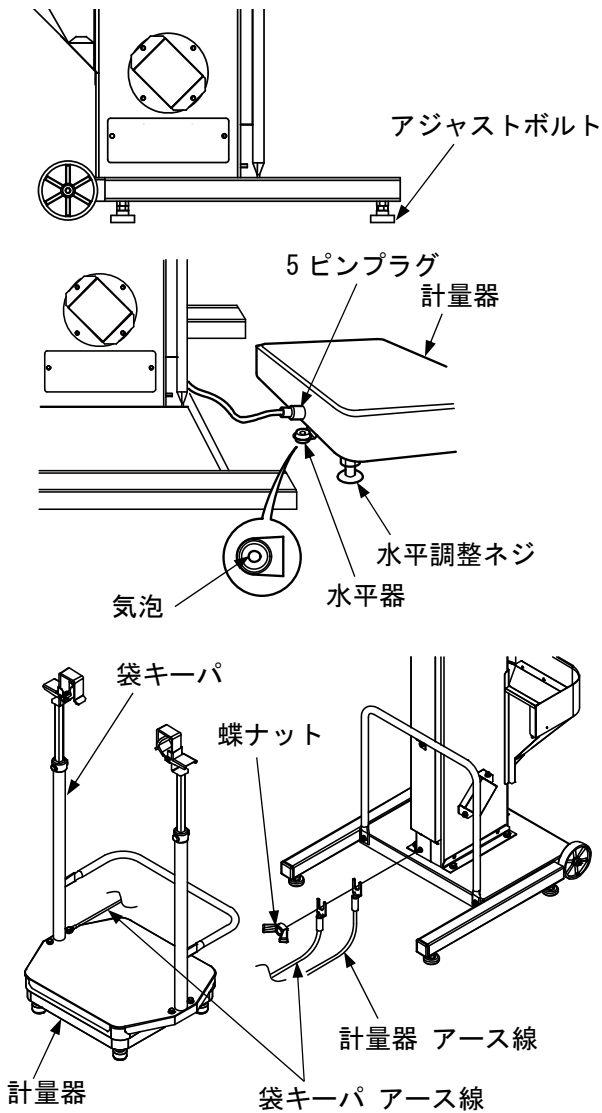
4. 精品排出口の調整



- 1) 袋の種類によって、袋に入った玄米にビンールが接触する場合は、ビンール下部を適当な長さに切り取るか、外側に巻き上げて使用します。

- 精品排出口のビンールの長さは、30kg 紙袋用になっています。
- 丈の短い特殊袋を使用する場合は、玄米が飛散しないように、計量器の下にコンクリートブロック等のしっかりした台を置いて運転してください。

機械の据付

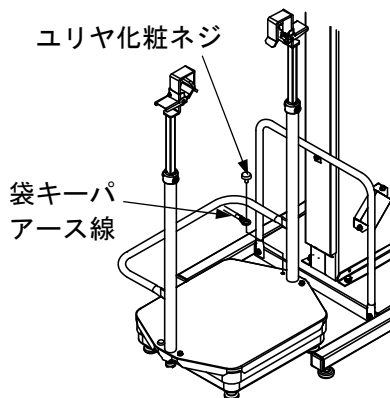


- 1) 機械が揺れないようにアジャストボルトで調整します。
 - 機械の据え付けは、平らでしっかりとした場所にしてください。
- 2) 5 ピンプラグを計量器へ確実に差し込みます。
 - 計量器から 5 ピンプラグを抜くときは、外側のリングを手前に引いてください。
- 3) 計量器の水平を調整します。
 - 水平器の気泡が中央になるよう水平調整ネジを回して調整してください。
- 4) 計量器に袋キーパを載せます。
- 5) 計量器と袋キーパのアース線を機械に接続します。
 - 蝶ナットで確実に締め込んでください。

取扱注意

- 計量器を本体に接触させないでください。計量誤差の原因になります。
- 計量器は、コンクリート等のしっかりした場所に置いてください。

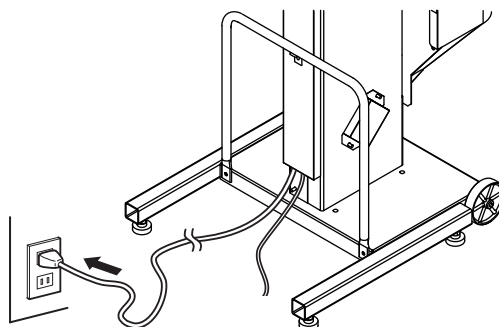
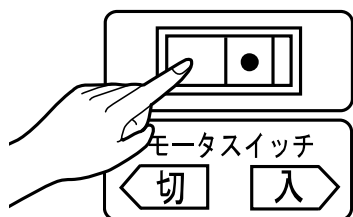
取扱注意



- 袋キーパを右に向けて作業する場合、袋キーパ アース線の固定箇所を左図のように変えて使用してください。
- ユリヤ化粧ネジで確実に固定してください。

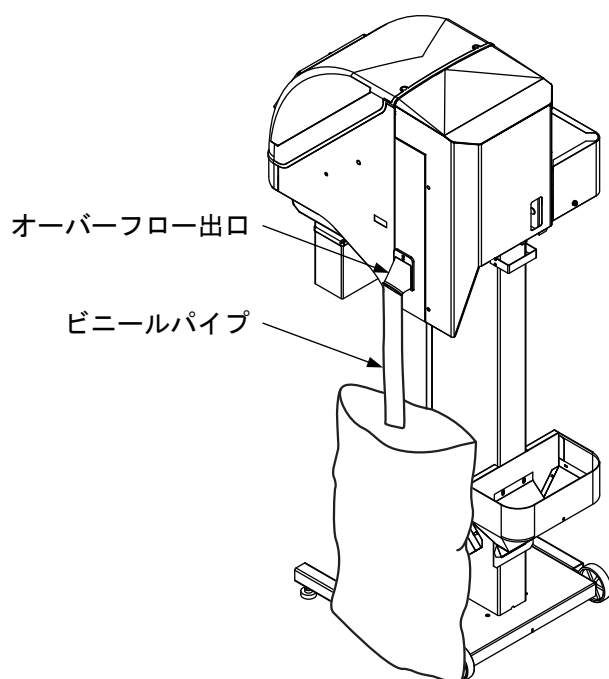
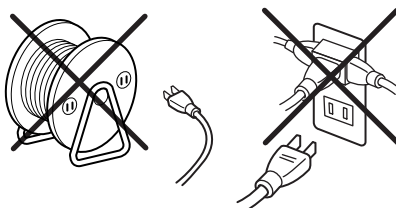
運転前の確認と作業

- 1) [モータスイッチ] を [切] にして、電源プラグをコンセントに差し込みます。



取扱注意

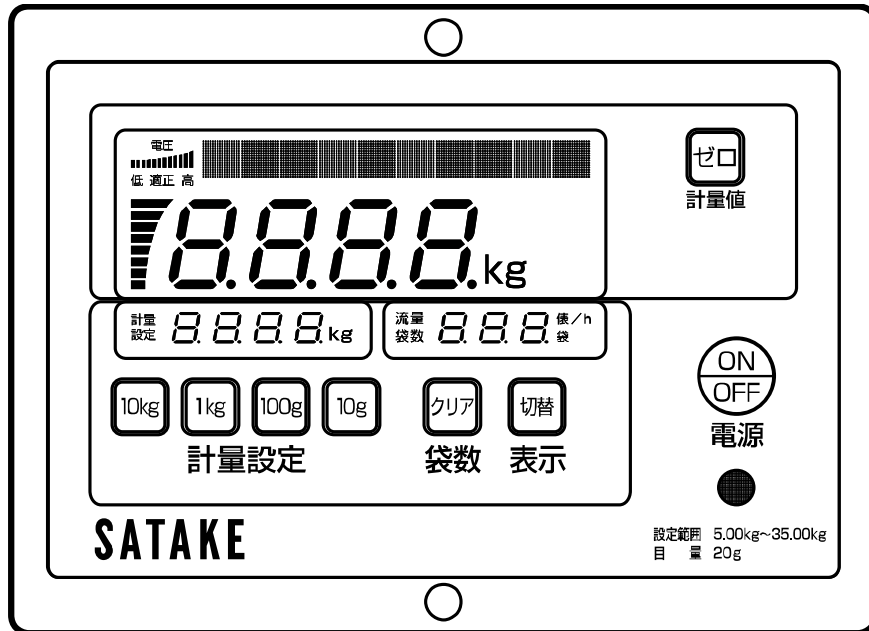
- 電圧降下による誤動作の原因になりますので、電源にコードリールを使用したり、タコ足配線したりしないでください。



- 2) オーバーフロー出口に紙袋などをセットします。
 - オーバーフロー出口のビニールパイプを紙袋の中に向けます。

運転操作

1. 計量設定のしかた



運転のしかた



1) 秤指示計の「電源スイッチ」を押し、電源を入れます。

- 1回押すごとに「入」「切」を繰り返します。
- 表示部が3回点滅します。

取扱注意

- 「電源スイッチ」を「入」にするとき、計量器の上には袋キーパー以外は載せないでください。
- 「電源スイッチ」を「切」にすると、バルブが閉じますので緊急時にも使用できます。

2) [袋数クリアスイッチ] を押します。

- [電源スイッチ] を入れると「袋数をクリアしてください。」「モータを起動してください。」と交互に2回表示し、その後「待機中」と表示されます。

3) [計量設定スイッチ] で希望の値に合わせます。

(16ページ「2. 計量設定値の決め方」参照)

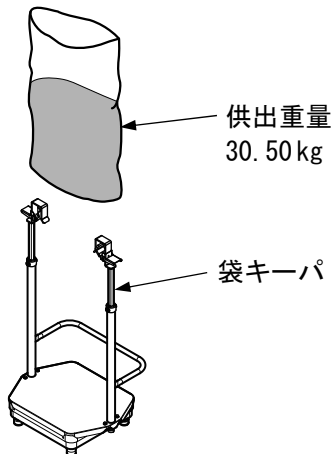
- [10 kg] [1 kg] [100g] のスイッチを押すと数字が1つずつ増加します。
- [10g] スイッチを押すと数字が2つずつ増加します。

取扱注意

- [10 kg] のスイッチは、0～3 の範囲になっています。
- 自動計量範囲は、5～35 kg です。自動計量範囲以外の設定では設定値になっても自動的にバルブが閉じません。

2. 計量設定値の決め方

(1) 袋キーパ使用の場合



1) 計量設定は、供出重量を設定します。

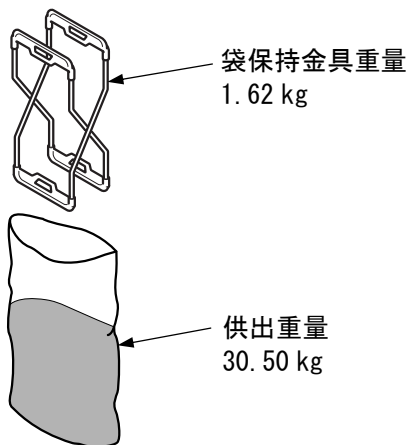
$$\text{計量設定値} = \text{供出重量}$$

取扱注意

- 穀物は外気温度や湿度により水分が変化し重量が若干変わることがありますので、計量設定値は少し多めに設定されることをお勧めします。

(2) 袋保持金具使用の場合（参考）

(例)



1) 計量設定値は全重量（皆掛重量）を設定します。

$$\text{計量設定値} = \text{供出重量} + \text{袋保持金具重量}$$

で計算します。

例えば

$$\begin{cases} \text{供出重量（袋を含む）} = & 30.50 \text{ kg} \\ \text{袋保持金具} & = & 1.62 \text{ kg} \end{cases}$$

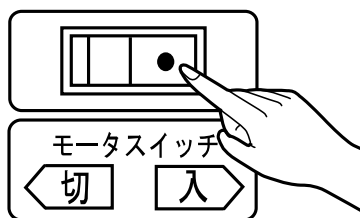
とすると、

$$\text{計量設定値} = 30.50 + 1.62 = 32.12 \text{ kg}$$

となります。

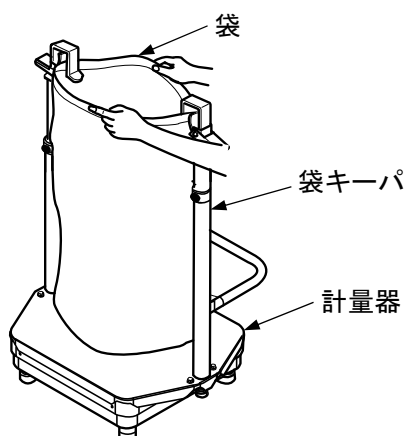
計量のしかた

1. 計量作業のしかた



1) [モータスイッチ] を [入] にします。

- モータが回ります。
- 「待機中」と表示されます。

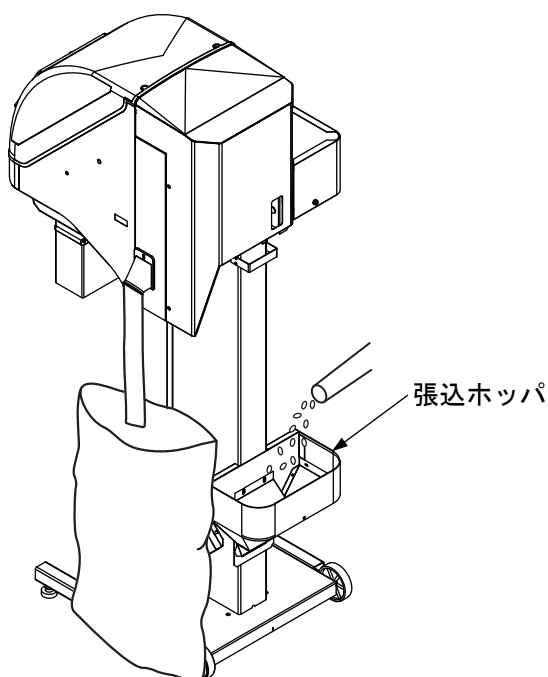


2) 計量器に袋をセットします。

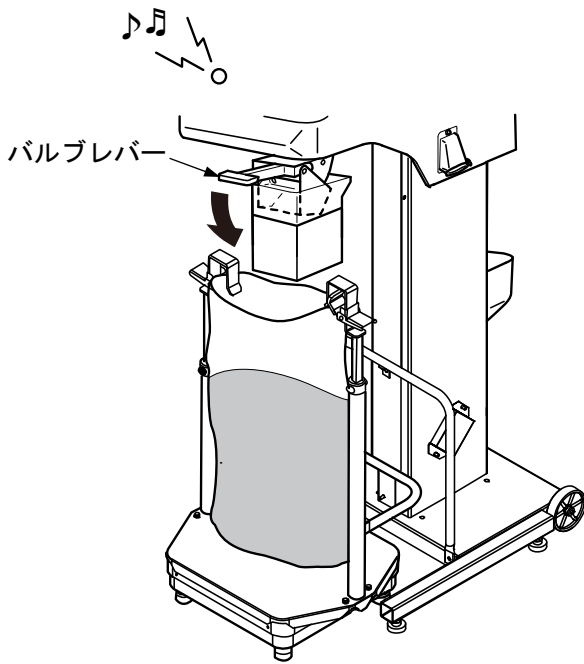
- 袋を持って下から押し上げながら袋キーパにセットしてください。

取扱注意

- 袋を載せる前に、計量値表示部が「0.00」になっていることを必ず確認してください。「0.00」になっていないときは、[計量値ゼロスイッチ] を押してください。



3) 張込ホッパに玄米を供給します。



4) バルブレバーを押さえます。

- バルブが開き、玄米が排出されます。
- 計量設定値の 1.5kg 手前で 1 段目のバルブが閉じ、「間もなく終わります。」と表示されます。55g 手前になると 2 段目のバルブが閉じて、計量を完了し、「計量終了しました。」と表示されます。
- 計量完了はメロディ音*と計量完了ランプで知らせますが、このとき、計量設定値と計量値が精度以内であるか確認してください。精度は±30g です。

*ブザー音にも変更できます。

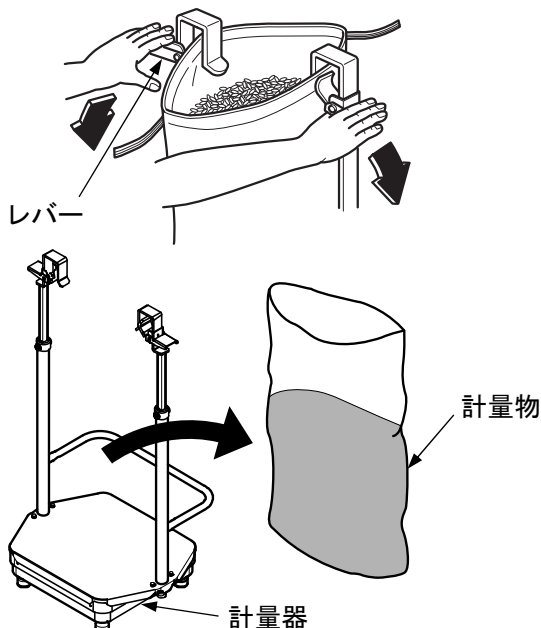
(9ページ ⑫ を参照してください)

補 足

- 計量値が 1 kg 以上になると「計量中」と表示されます。

取扱注意

- 計量設定値と計量値の間に差があっても、30g 以内であれば問題ありません。希望の計量値にしたい場合は、計量設定値で調整してください。
- 計量の確認は、検定を受けた台秤で行ってください。



5) バルブが 2 段とも閉じ、メロディが鳴ってから計量物を計量器から降ろします。

- メロディが鳴ってから左右のレバーを押し下げて袋を解除します。



6) 連続運転の場合は、2)、4)、5) を繰り返してください。

- 計量完了ごとに袋数がカウントされ今までの袋詰数が表示されます。
- 袋詰数をクリアするときは、[袋数クリアスイッチ] を押してください。
- [表示切替スイッチ] を1回押すごとに袋数と流量（俵/h）が交互に表示されます。

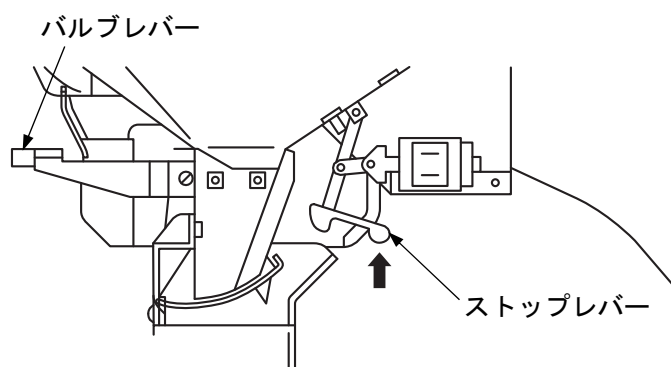
警告

- 運転中は危険ですから、絶対にモータカバー、張込ホッパを取り外したり、指や棒などを入れたりしないでください。
- 運転中に停電した場合、必ず[モータスイッチ]を[切]にしてください。再度電源が復帰した場合、復帰と同時にモータが回り危険です。

取扱注意

- 秤指示計のスイッチの操作は、乱暴に扱わないでください。
- 計量器は精密機器です。落下させたり、重量物を載せたり、水を掛けたりしないでください。
- 最高処理能力以上で使用すると、モータが過負荷になり、過負荷停止装置が働き、モータが停止しますので注意してください。

2. 緊急に排出を止める場合



1) 緊急に排出を止めたい場合は、ストップレバーを矢印方向に押してください。

- 再び排出する場合は、バルブレバーを押さえてください。

掃除

警告

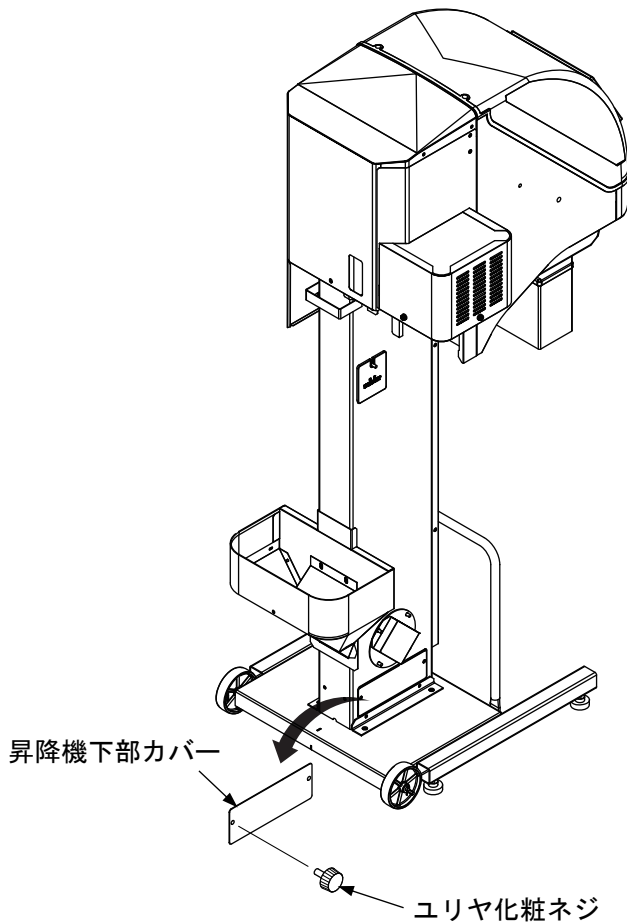
- 各部の掃除を行う前には、必ず「モータスイッチ」を「切」にし、電源プラグを抜いてから行ってください。

注意

- 作業時には、手袋・長袖・長ズボンなど、作業に適した服装および靴を着用してください。

1) 機械内部の残留穀物を取り出します。

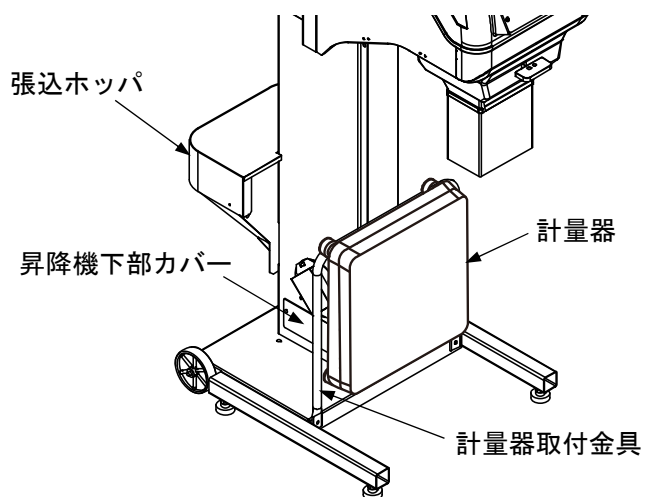
- 品種の異なった玄米を通す場合やシーズンの終わりには、ユリヤ化粧ネジ（2本）を緩めて昇降機下部カバーを外し、内部の残留穀物をきれいに取り出してください。



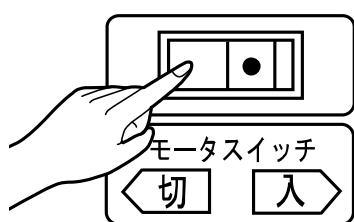
保管

取扱注意

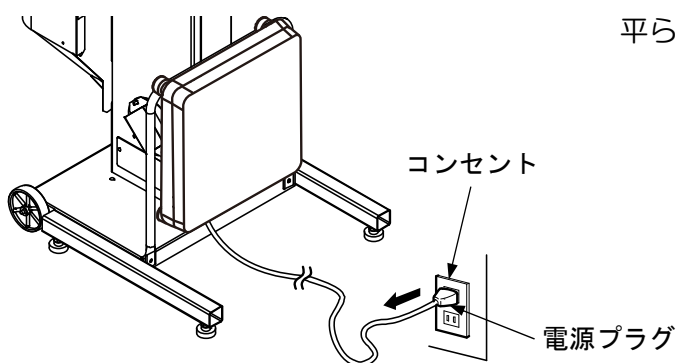
- 作業を終了し、保管する前に、必ず機内・機外の掃除をしてください。
- できるだけ湿気のない、風通しの良い所に保管してください。
- 雷で計量器が故障することがありますので、必ず電源プラグを抜いて保管してください。



- 1) 機械内部の掃除を行います。
(20ページ「掃除」参照)
- 2) 昇降機下部カバーを確実に取り付けます。
- 3) 張込ホツパをカバーでふさぎます。
 - カバーはお客様にて準備してください。
- 4) 計量器を、図のように5ピンプラグ、アース線を付けたまま計量器取付金具に掛けま



- 5) 機械を保管場所へ移動します。
 - 機械を保管するときは、[モータスイッチ]を[切]にし、電源プラグを抜いてください。
 - 保管場所は、雨などが掛からず乾燥した平らな所にしてください。

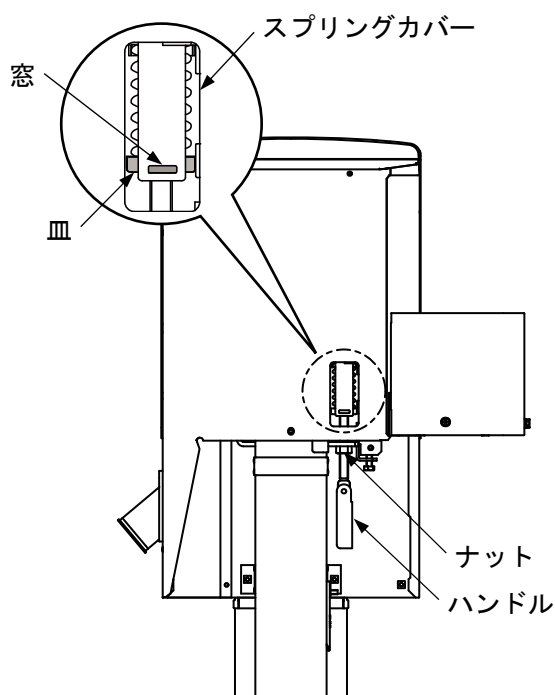


点検・調整



警告

- 各部の点検・調整は、必ず「モータスイッチ」を「切」にし、電源プラグを抜いてから行ってください。



1) バケットベルトの張り具合を確認します。

- スプリングカバーの窓の下側と青色の皿の下側が一致していることを確認してください。
- 窓から皿の位置が外れている場合は、ナットを緩め、ハンドルを回して調整してください。調整後は、ナットを締めてください。

2) バケットおよびバケットベルトの状態を確認します。

- バケットベルトが摩耗して底が浅くなっていないか、バケットベルトに亀裂やほころびがないか確認してください。
異常のある場合は、新しい部品と交換してください。
- バケットベルトは下記コードで注文してください。

注文コード	部品名
B9151103100	バケットベルト一式

スパン調整

取扱注意

- スパン調整とは、計量器単体の調整をいいます。

計量器に載せた重量が正しくデジタル表示されない場合、スパン調整することにより表示を修正することができます。

十分理解して行わないと故障の原因になりますので、スパン調整する場合は、お買い上げの販売店またはJAにご連絡ください。

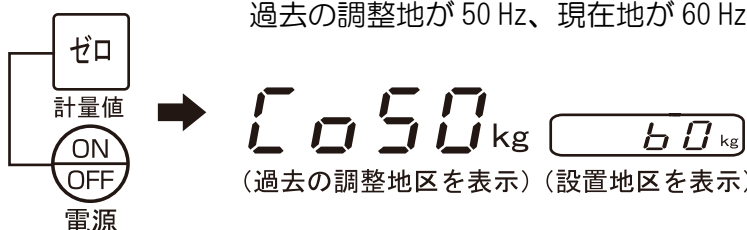
- 1) 「電源スイッチ」を「入」にした後、計量設定を「01.24」kg にセットし、「電源スイッチ」を「切」にします。



- 2) 「計量値ゼロスイッチ」を押しながら、「電源スイッチ」を押します。

(表示の例) :

過去の調整地が 50 Hz、現在地が 60 Hz の場合



「はかり調整：切替キーを押してください。」と表示されます。

- 3) 確認後「切替スイッチ」を押すと計量値に「SPO」と表示されます。

- 表示が「SPO」になっていることを確認したら次へ進んでください。
表示が「SP 1」「SP 2」になっているときは、「計量値ゼロスイッチ」を押して必ず「SPO」にしてください。
- 「ひょう量調整：ゼロキーを押してSPOに合わせ切替キーを押します。」と表示されます。



4) [切替スイッチ] を押します。「C L 0」と表示されます。

その後、[計量値ゼロスイッチ] を押します。(ゼロ点調整)

- 「ゼロキーを押してゼロ設定してください。」と表示されます。



5) 計量器に 30 kg の分銅を載せます。

- 「分銅を載せてクリアキーと切替キーを押してください。」と表示されます。

(表示の例)

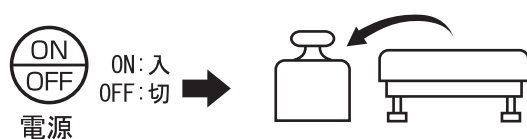


6) [袋数クリアスイッチ] と [表示切替スイッチ] を同時に押すとスパン調整が行われます。



7) [電源スイッチ] を [切] にし、分銅を降ろします。

- 「電源をOFFして分銅を降ろしてください。」と表示されます。



困ったときの対処のしかた

1. 異常・故障の場合の処置方法



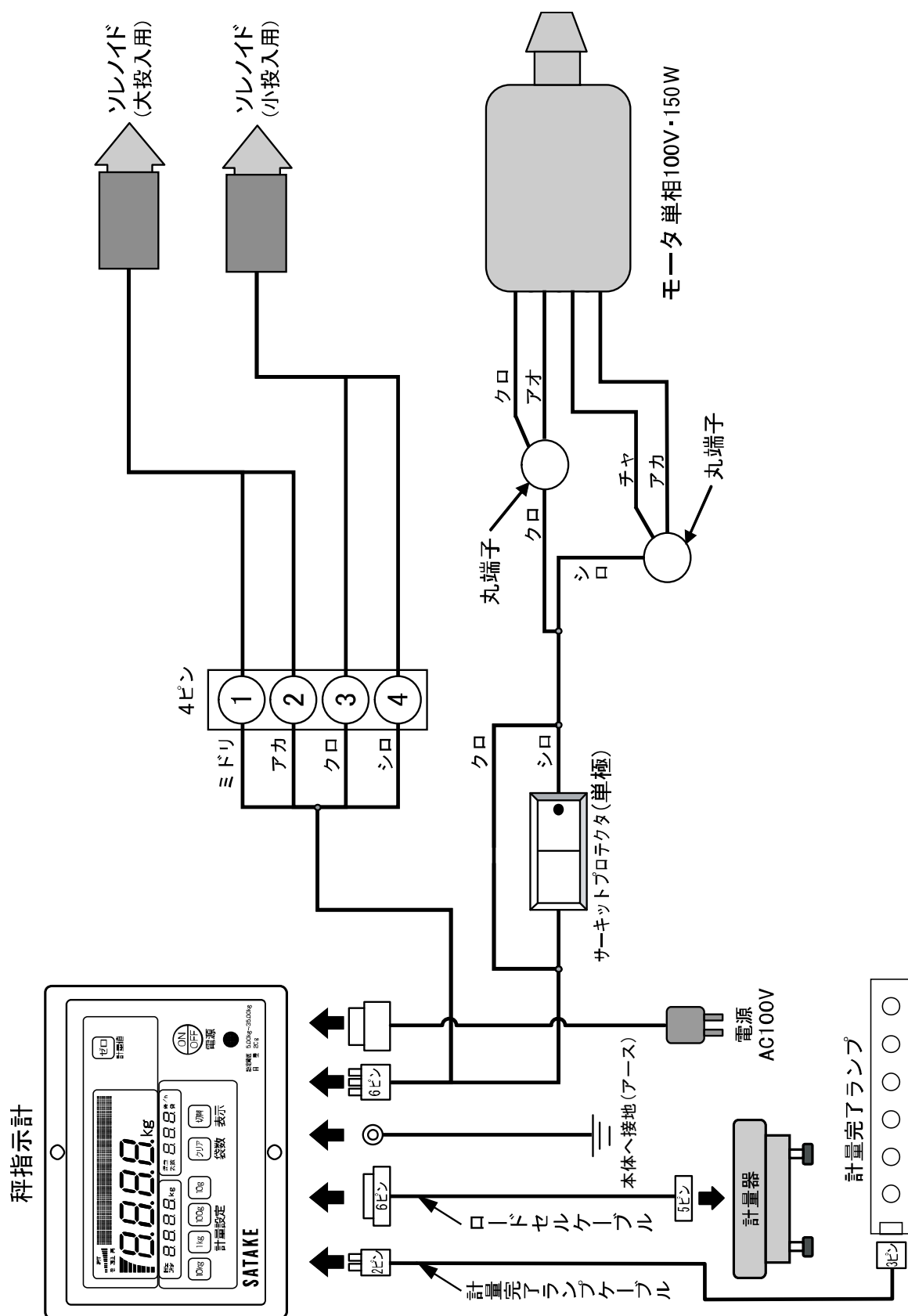
警告

- 異常・故障の処置を行う前に、特に指示するもの以外〔モータスイッチ〕を〔切〕にし、電源プラグを抜いてください。
- 本書の指示に従ったにもかかわらず、異常・故障が直らない場合はお買い上げの販売店またはＪＡに連絡してください。

症 状	原 因	処 置 方 法
ＦＦＦＦを表示する	計量設定範囲を超えている	範囲内で使用してください。 ● 「重量オーバー」と表示されます。 ● 35 kgを超えると計量できません。
―――を表示する	－10 kg以下の表示になっている	再度計量器に何も載せないで〔電源スイッチ〕を押し、電源を入れてください。 ● 「点検後、電源を入れ直してください。」と表示されます。
ＣＣＣＣを表示する	計量物を載せて〔電源スイッチ〕を押し、電源を入れた	再度計量器に何も載せないで〔電源スイッチ〕を押し、電源を入れてください。 ● 「物を載せないで電源を入れ直してください。」と表示されます。
	ロードセルケーブルが断線している	ロードセルケーブルを交換してください。 (27ページ参照) ● お買い上げの販売店またはＪＡに連絡してください。
－ＥＥＥを表示する	計量器上蓋を持ち上げて〔電源スイッチ〕を押し、電源を入れた	再度計量器に何も触れないで〔電源スイッチ〕を押し、電源を入れてください。 ● 「点検後、電源を入れ直してください。」と表示されます。
	ロードセルケーブルが断線している	ロードセルケーブルを交換してください。 (27ページ参照) ● お買い上げの販売店またはＪＡに連絡してください。

症 状	原 因	処 置 方 法
0.00のまま表示が変わらない	5ピンプラグが外れている	5ピンプラグを確実に差し込んでください。 (12ページ参照)
	ロードセルケーブルが断線している	ロードセルケーブルを交換してください。 (27ページ参照) ● お買い上げの販売店またはJ Aに連絡してください。
計量誤差が出る	計量器が本体に接触している	計量器が本体に接触しないように離してください。 (12ページ参照)
	ビニールが袋に入った玄米に接触している	ビニール下部を適当な長さに切り取るか、外側に巻き上げてください。(11ページ参照)
	計量設定値の決め方が間違っている	正しく設定してください。 (16ページ参照)
	計量器に袋を載せて「電源スイッチ」を押し、電源を入れた	袋を載せる前に「電源スイッチ」を押し、電源を入れてください。
	計量器がガタついている	水平調整ネジで水平にしてください。 (12ページ参照)
	延長コードの使用やタコ足配線をしている(電圧降下)	延長コードを使用せず、タコ足配線を止めてください。 (13ページ参照)
	計量器の下にダンボールを敷いている	計量器はコンクリート等のしっかりした場所に置いてください。(12ページ参照)
	スパンの不良	スパン調整を行ってください。(23ページ参照)
設定値を過ぎてもバルブが閉じない	延長コードの使用やタコ足配線をしている(電圧降下)	延長コードを使用せず、タコ足配線を止めてください。 (13ページ参照)
	バルブレバーがカバーに接触している	バルブレバーがスムーズに動くようにカバーを調整してください。(6ページ参照)
何も表示しない	電源プラグを入っていない	電源プラグを確実に差し込んでください。 (13ページ参照)
	秤指示計内のヒューズが切れている	秤指示計内の基板にあるヒューズ(3A)を交換してください。ヒューズは秤指示計ボックス裏蓋内側の基板に2本あります。

配線図

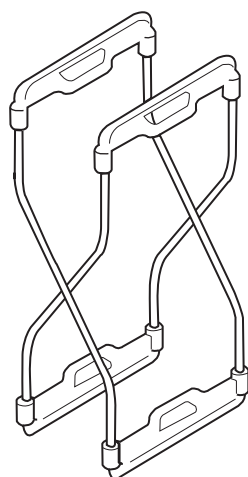


オプション部品

■袋保持金具

(注文コード：(B)150350020)

- 袋を立てる場合に使用します。



重量：1.62 kg

仕様

表 2 仕様一覧表

名 称	ネオライスパッカー	
型 式	NRP30	
区 分	C(3)	
処理能力 (kg/h) ※1	2400 (最大)	
計量方式	電子秤 (ロードセル方式)	
自動計量設定範囲 (kg)	5.00～35.00 (20g 間隔)	
計量実精度 (g)	±30	
重量表示	4桁デジタル	
流量・袋数表示	2桁デジタル (0～50 俵/h) / 3桁デジタル (0～999 袋)	
電圧表示	メータ表示	
メッセージ表示	10 文字	
定格電圧 (V)	単相 100	
定格出力 (kW)	0.15	
回転数 (r/min)	365	
機体寸法	全長 (mm)	540
	全幅 (mm)	925
	全高 (mm)	1635
機 体 質 量 (kg)	71	
処理可能な原料名	玄米	

※1 能力は、地域、原料条件、使用条件によって仕様と異なります。

※2 本計量器は、米麦の供出または、個人的な使用以外の取引・証明には使用できません。

※3 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

機体寸法

単位：mm

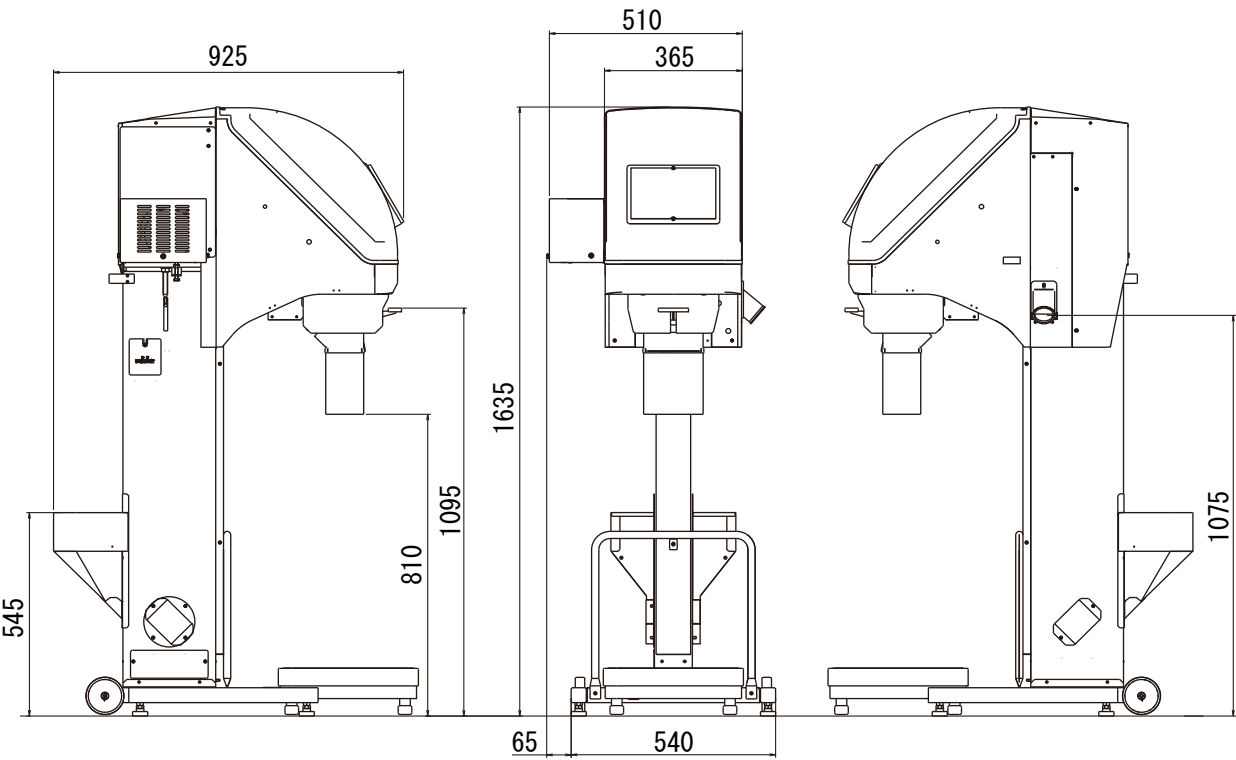


図 6 機体寸法図

保証とアフターサービス

取り扱い・修理などのご相談は、お買い上げの販売店またはＪＡまでお申し付けください。

■保証書（別添付）

- 保証書は必ず、「納入日、販売店名・ＪＡ」などの記入をお確かめの上、販売店またはＪＡからお受け取りください。
- 内容をよく確かめたあと、大切に保管してください。

保証期間は、納入日から１年間です。

■補修用部品の供給年限

- 本製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後10年とします。
ただし、供給年限内にあっても、特殊部品につきましては、納期などについてご相談させていただく場合があります。
- 補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給の要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

■修理を依頼される時には

- 「困ったときの対処のしかた」（25～26ページ）に従っても直らない場合は、お買い上げの販売店またはＪＡにご連絡ください。

〔保証期間中は〕

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定に従って修理させていただきます。

〔保証期間が過ぎているときは〕

- 修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理させていただきます。

〔修理料金は〕

- 修理料金＋部品代で構成しています。

緊急時の連絡先

機械が異常な作動をし、原因が不明で適切な処置が行えない場合、または運転操作方法等に不明な点がある場合は、以下の窓口へご連絡ください。

〔１〕販売店・ＪＡ（購入時にお客様にてご記入ください）

店名：
緊急時の連絡先：
担当者：

〔２〕最寄りの営業所

●販売店・ＪＡに連絡がつかない場合は、最寄りの営業所へご連絡ください。

営業所／所在地	TEL（代表）	FAX	〒
北海道営業所／札幌市白石区中央３条３丁目 6-44	011 (812) 3666	011 (820) 2007	003-0013
北上営業所／岩手県北上市川岸１丁目 16-1（サタケ東北内）	0197 (64) 0111	0197 (61) 0001	024-0032
秋田営業所／秋田市仁井田字中谷地 121-2	018 (839) 0891	018 (889) 6001	010-1423
仙台営業所／宮城県仙台市若林区六丁の目西町 7-33	022 (287) 2733	022 (390) 1017	984-0011
小山営業所／栃木県小山市駅南町 4 丁目 31	0285 (27) 5060	0285 (31) 1002	323-0822
柏営業所／千葉県柏市大室 1153	04 (7132) 1181	04 (7140) 8018	277-0813
新潟営業所／新潟市中央区長潟 3 丁目 8-16	025 (287) 0177	025 (257) 1103	950-0932
名古屋営業所／愛知県一宮市赤見 1 丁目 2-28	0586 (73) 2177	0586 (26) 1040	491-0023
北陸営業所／石川県白山市源兵島町 793-1	076 (277) 2085	076 (277) 8010	924-0052
大阪営業所／大阪府豊中市稲津町 2 丁目 5-1	06 (6867) 6015	06 (6867) 6073	561-0854
広島営業所／広島県東広島市西条西本町 25-29 アソカビル 3F	082 (420) 8575	082 (420) 0010	739-0043
松山営業所／愛媛県伊予市市場 485-1	089 (982) 6990	089 (997) 3231	799-3122
福岡営業所／福岡県太宰府市国分 1 丁目 7-1	092 (921) 6111	092 (920) 1030	818-0132
熊本営業所／熊本市東区長嶺東 2 丁目 4-70	096 (382) 2727	096 (386) 2007	861-8038

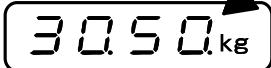
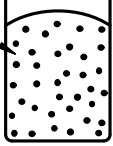
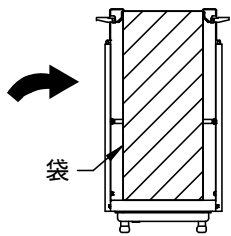
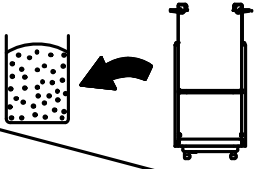
〔３〕製造元 株式会社 サタケ

広島本社／広島県東広島市西条西本町 2-30 〒739-8602

●最寄りの営業所に連絡がつかない場合は、以下の窓口へご連絡ください。

■お客様サポートセンター	TEL : 082 (420) 8543	FAX : 082 (420) 0009
■本社営業窓口 [調製機事業本部]	TEL : 082 (420) 8541	FAX : 082 (420) 0005
■大代表	TEL : 082 (420) 0001	

運 転 順 序

1 電源投入  必ず10分前に入れておいてください。	2 スイッチON  袋キーパを計量器の上におき指示計のスイッチをONしてください。(このとき袋キーパの上には何ものせないでください)	3 計量設定  袋キーパを使用する場合は供出重量を設定します。 
4 袋をのせる  のせる前に必ず0.00になっている事を確認してください。	5 バルブを開く  自動的に2段階でバルブが閉じメロディで計量完了を知らせます。	6 計量物をおろす  袋数 3 袋 袋数をクリアする場合は、[袋数クリアスイッチ]を押してください。 クリア 切替 袋数 表示

連続作業の場合は④⇒⑤⇒⑥ を繰り返してください。

計量設定について

袋詰めしたお米を放置しておくと、天候の影響で水分が変化することがあります。天候が良い場合、自然乾燥により重量が1か月で100g程度減ることもありますので、あらかじめ計量設定値を100g程度多めにすることをお勧めします。

株式会社 **サタケ**

サタケのホームページ
<https://www.satake-japan.co.jp>

□広島本社／〒739-8602 広島県東広島市西条西本町 2-30 TEL 082(420)0001 (大代表)
 □東京本社／〒101-0021 東京都千代田区外神田 4-7-2 TEL 03(3253)3111 (代表)
 □営業拠点／北海道、北上、秋田、仙台、小山、東京、柏、新潟、名古屋、北陸、大阪、広島、松山、九州、福岡、熊本
 □サタケグループ／
 株式会社サタケ、サタケ東北株式会社、サタケ豊栄株式会社、
 サタケグレインマシナリー株式会社、
 SATAKE USA INC.、SATAKE AMERICA LATINA LTDA.、SATAKE EUROPE LTD.、
 SATAKE AUSTRALIA PTY. LTD.、SATAKE (THAILAND) CO., LTD.、
 SATAKE ASIA CO.,LTD.、SATAKE INDIA ENGINEERING PVT.LTD.、
 佐竹機械(蘇州)有限公司、佐竹軟件技術(蘇州)有限公司

Copyright (C) 2026 Satake Corporation. All rights reserved.

I1NRP30CAACA-X2603D-D